

# ゆうこう と し がく よう た よ り 友好城市岳陽信息

このコーナーでは、沼津市の友好都市である中国湖南省岳陽市の様子を中心に、中国や岳陽についての新旧織り交ぜた情報を紹介しています。

令和7年度は、沼津市・岳陽市友好都市提携40周年！今回は、頼重市長を団長とする公式訪問団と市民訪問団計28名が、5月23日～27日（市民訪問団B日程は30日）に記念訪岳した際の様子をレポートします。

このコーナーの第5回（2015年11月up）の記事では、30周年時の記念訪岳の様子を報告しています。あわせて読んでみると、この10年の違いが分かって面白いかも!?是非ご覧ください。※まずは基本を知ろう！の部分は、30周年時の記事を一部修正して再掲したものです。

## ～ まずは基本を知ろう！ ～

Q 岳陽市ってどこにあるどんな町？

A 中国の湖南省にあります。上海から内陸へ長江沿いに遡ると、洞庭湖という中国第2の大きさの淡水湖があります。岳陽市はその湖畔にあり、長江の水運の利から、古くから流通の要衝として栄えてきました。

農業や石油化学工業などで発展し、人口は沼津市の約26倍の約499万人。三国志にゆかりある岳陽楼なども有名です。



Q 沼津市と岳陽市はいつ友好都市提携したの？

A 1985年4月5日、沼津市民文化センターにおいて、庄司辰雄沼津市長(当時)と儲波岳陽市長(当時)により、友好都市締結書に署名がなされ、両市は友好都市となりました。中国との都市提携では当時全国で75番目でした。

Q どうして友好都市になることになったの？

A 1979年に『中日友好の船』の湖南省班が沼津市を訪問したこと、また、その翌年に沼津市にゆかりがある岳陽市在住の福地愛子さん（2025年10月に岳陽市にてご逝去、享年100歳。）が、家族の住む沼津市に三十数年振りに一時帰国したことが大きなきっかけとなりました。福地さんは、戦時中中国東北部に渡ったものの終戦時難病の為に帰還を逃してしまい、その時に手を差し伸べてくれた中国人青年と結婚し中国の激動の時代をその渦の中で過ごした方です。この2つのきっかけののちに、岳陽市から“都市提携に大きな希望を持っている”との意向を受け、相互訪問や視察・書簡の交換等を重ね、本市において友好都市締結の調印式を行うに至りました。

～ 岳陽市への訪問はどんなだったの？ ～

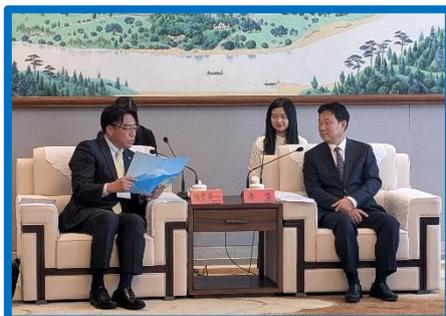
5月23日（金）

- 6:30 公式訪問団7名・市民訪問団21名の計28名が、沼津市役所に集合・出発。
- 14:10 成田国際空港から湖南省長沙市の長沙黄花国際空港へ、定刻出発。
- 16:20 岳陽市のある湖南省の省都長沙市へ少し早めに無事到着。
- 21:00 バスで1時間半、岳陽市の県級市（市の下に属する行政区分）汨羅市のホテルに到着。遅い時間にもかかわらず、汨羅市長と人代主任（議長）が花束で出迎えてくれました。



5月24日（土）

- 9:00 汨羅江国際龍舟祭開幕式へ出席。頼重市長が龍舟の龍の目に赤い点を筆で描き込み、頭に赤い飾りを付ける大役を担いました。
- 11:30 南湖賓館へ移動し、李市長や馬人代主任（議長）を表敬訪問。頼重市長と高橋議長は中国語で挨拶し、和やかな面会となりました。引き続き隣接会場にて記念式典が行われ、両市長・議長の挨拶、両市の友好を誓い合う友好交流協定書に両市長が署名、両市・議会・協会による記念品交換、岳陽市側関係者と訪問団員全員での記念撮影を行い、その後昼食歓迎会が行われました。
- 15:00 君山島公園にて両市木（松とホルトノキ）を記念植樹し、記念プレートを除幕。植樹では訪問団員の皆さんにも一鍬ずつ入れていただき、両市民の想いがこもった植樹となりました。



5月25日（日）

- 9:00 岳陽市パンダ楽園・岳陽楼公園・洞庭湖博物館・岳陽生態園等岳陽市内各施設を視察。きぐるみかと思うほどのかわいらしいしぐさのパンダに癒され、岳陽市の代名詞で江南三大名楼の一つであり「先憂後楽」の元となった『岳陽楼記』でも大変有名な岳陽楼に登り、博物館内では洞庭湖の歴史をつづった演劇を鑑賞、生態園では四不象（スーフーシャン）を見られて盛りだくさんでした。

19:30 <sup>こなんかんこうはってんたいかい</sup> 第4回湖南観光発展大会開幕式に参加。本大会は2022年から開催されている湖南省の観光に関する大規模イベント。この圧倒的規模を感じとっていただけるでしょうか。



### 5月26日(月)

9:00 岳陽市外国語学校を

訪問し、日本語クラスの学生と交流。代表学生による流暢な日本語スピーチ、頼重市長・高橋議長への質問、最後は学生と訪問団員と一緒に日本語の歌を合唱。この様な若い世代の学生達が懸け橋となり、交流の輪が繋がる事を願うばかりです。

10:30 その後訪問団は二手に分かれ、公式訪問団は提携のきっかけとなった福地愛子さん宅を訪問。今年100歳を迎えられた福地さんに沼津市から「長寿賞」をお渡ししました。中国の故事に「井戸を掘った人を忘れてはならない」とありますが、記念すべき年に頼重市長・高橋議長が直接お会いできたことは大変喜ばしい出来事でした。しかし大変残念ながら福地さんは10月26日にご逝去されました。福地さんのご功績に感謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。公式訪問団と別行動となった市民訪問団は、岳陽市民と太極拳交流を行いました。

12:30 昼食をとり、岳陽市内の大型ショッピングモールを見学後、公式訪問団と市民訪問団 A 日程は長沙へ移動し、<sup>こうこうろ</sup> 黄興路步行街を見学後に空港となりのホテルへ。市民訪問団 B 日程は引き続き<sup>どうていこ</sup> 洞庭湖畔散策等岳陽市内で過ごし、岳陽滞在を締めくくる楽しい1日となりました。



### 5月27日(火) 公式訪問団と市民訪問団 A 日程

8:00 長沙黄花国際空港から成田国際空港へ、定刻出発で快適なフライトでした。

17:30 無事沼津市役所へ到着し、短いようで長い友好都市訪問の旅を終えました。

### 5月27日(火) ~30日(金) 市民訪問団 B 日程

5月27日 岳陽からバスで湖北省宜昌市<sup>ぎしやう</sup>へ向け出発。

途中<sup>さんごくし</sup> 三国志ゆかりの<sup>けいしゅう</sup> 荊州古城や荊州博物館を見学。

5月28日 巨大な<sup>さんきやう</sup> 三峡ダムを見学、また船で<sup>せいりょうきやう</sup> 西陵峡を遊覧し“船のエレベーター”を体験。

5月29日 宜昌から長沙へ向け450Kmの大移動！  
湖南省博物館では2000年前のミイラ等を見学。

5月30日 長沙黄花国際空港から成田国際空港へ帰国。皆さん長旅お疲れ様でした！

